

音楽系 3 大学による共同プロジェクト
音大連携による教育イノベーション
音楽コミュニケーション・リーダー養成に向けて

神戸女学院大学・昭和音楽大学・東京音楽大学
第 2 回合同トライアル講座 実施報告



地域とともに育つアーティスト～若手音楽家の活躍～

2009 年 12 月 2 日(水)18:30～20:00 昭和音楽大学 南校舎 C511 階段教室

3 大学連携による第 2 回目の合同トライアル講座は昭和音楽大学で 12 月 2 日(水)に行なわれました。講師には(財)地域創造及び(財)アフィニス文化財団ディレクターの小澤櫻作さん、若手ヴァイオリニストの松本蘭さんのお二人を迎え、「地域とともに育つアーティスト～若手音楽家の活躍～」をテーマにお話いただきました。

まず始めに小澤さんが「アウトリーチ活動の背景」として日本における公共ホールの増加と現状についてお話下さり、続いて松本さんとともに DVD を視聴しながら(財)地域創造の「公共ホール音楽活性化事業(通称:おんかつ)」の取り組みについて説明がありました。そして「おんかつ」に参加しアウトリーチ活動を行った経緯を松本さん

から紹介し、その後の対談ではアウトリーチ活動の普及と発展及び意義についてお二人の実体験に基づいたお話しがありました。最後の質疑応答では、近年の財政難の中で公共ホールに求められるあり方や、松本さんのアウトリーチ活動の具体的な内容について、インターネット・ビデオ会議システムを通じて結ばれた 3 大学の学生からの質問にお答えいただき、今回も大変有意義な講座となりました。



小澤さん



松本さん

学生のコメント

- 人と人との関わり(繋がり)の大切さ、素晴らしさを感じました。(アートマネジメント 1 年)
- アウトリーチの実体験が聞けてためになりました。「子ども達の人生を変えてしまう」という言葉が印象に残りました。(ピアノ 3 年)
- アウトリーチが始まったきっかけから、その活動が成す意味までを考えさせられる講座でした。「地域」+「アーティスト」のつながりを大切にすることで、お互いが成長できる良い活動であると改めて思いました。(アートマネジメント 1 年)
- 「聴き手に媚びずに」という言葉など、色々な事に気付けて良かったです。今後の演奏活動に活かしたいと思います。(ピアノ 3 年)
- ただ演奏家として演奏会を開くだけでなく、未来ある子どもたちの前で演奏活動をしてクラシック音楽に触れてほしいと私も考えていたので、実際の映像を見て雰囲気などが分かって良かったです。(器楽 1 年)
- 舞台スタッフの仕事にも共通することが多かったので、今日の事を意識して舞台を作りたいです。(舞台スタッフ 1 年)
- 曲の構成やトークの仕方、交流の方法などがとても勉強になりました。子どもたちからも得られるものがあるという話を聞き、また実際にアウトリーチに参加した子どもたちの笑顔を見て、もっと活動に参加したいと思いました。(器楽 1 年)
- 他の場所と一緒に講義を受けられるのが、とても新鮮でした。もっと他の学校の学生の皆さんと気軽に交流がしてみたいです。(器楽 1 年)



- これからのアウトリーチ活動の方向性を考えさせられる内容をありがとうございました。今後、私たちがこの活動を担っていくと思うので、とても参考になりました。(アートマネジメント 1 年)
- これからのクラシック音楽界のために、とても重要で、必要とされてくる活動だと思い、興味が深まりました。これからの自分の音楽活動に活かしていきたいと思いました。(器楽 1 年)

※昭和音楽大学の学生のコメントを掲載しています。